

西宮RC津久井様、ようこそいらっしやいました。

今月は職業奉仕月間です。本日の卓話は職業奉仕に長けている谷口会員です。素晴らしい話を期待しています。私は、昨年度職業奉仕の委員長であり、職業訪問ということで九州の小倉TOTOミュージアムを訪問し、また親睦活動委員会と同事業ということで門司の観光をしました。弾丸ツアーといわれましたが、参加していただいた会員の皆様には印象に残る思い出の事業が出来たかなと思っています。

私の職業は自動車タイヤの販売ですが、業界で今世界No.1 は日本のブリヂストンタイヤです。

創立者の石橋正次郎氏に少し興味を持ち、彼の生まれ故郷福岡県久留米市に行ってきました。彼は17歳のとき家業の仕立物屋を継ぎ、地下足袋の創製やゴム靴の製造を通じ全国的な企業と拡大し、1931年にタイヤメーカーを創業し、自動車タイヤの国産化に成功して同社を、日本を代表する企業へと発展させました。創業時から世界に目を向けていたので、石橋を英語で「ブリヂストーン」という社名、現在は「ブリヂストン」です。

新幹線の久留米駅を降りますと、バスのターミナル、タクシー乗降、整然とされており、しかし人が少なく、すこし田舎という感じでした。広場の前にはタイヤの町らしく世界一背の高い建設機械用の約4メートルの高さのタイヤが展示されており、また徒歩数分のところにブリヂストン通りがあり、広大なタイヤ工場、靴工場、また彼は文化事業にも積極的に取り組み、教室機関への支援、1928年に九州医学専門学校(現在は久留米大学)創設支援をし、この通りに現在医学部の建物があり、また子供たちに楽しみと体育向上の目的のために小・中学校に水泳プールを建設寄贈しています。ブリヂストン25周年の記念事業として、1952年に地元久留米にブリヂストン美術館、56年石橋文化センターを建造し寄贈しています。この施設に訪問したのですが、6万平方メートルの敷地に美術館、文化ホール、記念会館、日本庭園、植物園等があり、当日は入場者数も多く久留米市の地域文化の拠点になっていると実感しました。

正門のところに彼の自筆で「世の人々の楽しみと幸福のために」と彫られており、開園の挨拶で「人間は生まれて一生を生きるだけで終わるのではなく、楽しく幸福に一生を過ごし、生きがいあることがなにより大切で、これには衣食住すべての生活環境の向上が必要で、それは文化の発展によってもたらされるものであります。」彼は市民の文化



向上こそがよりよい社会を作り、地域の発展に連なるといっています。また「最高の品質で社会貢献」との理念のもと、トップ企業に育て上げるとともに、地域経済の発展や地域の文化・教育に貢献した彼は、ロータリークラブの職業奉仕に相通じるものがあるのではないかと思いつつ、西宮へ帰ってまいりました。